

3 IT用語集

イントラネット

インターネットで培われたネットワークによる情報検索や情報提供の技術を、企業などのLANに応用したもの。ネットワークプロトコルはTCP/IPを使い、インターネットで使われているものと同じソフトウェアを利用する。

グループウェア

電子メール、スケジュール管理などの機能を持ち、ネットワークによるグループの作業を効率的に行なうためのソフトウェア。

ASP (Application Service Provider)

「サーバファーム」と呼ばれるデータセンターでアプリケーションを一括稼働し、インターネットを利用してその機能を配信する事業者のこと。また、その事業の仕組み自体を指す場合もある。

BtoB (Business to Business)

企業間の電子商取引。

BtoC (Business to Consumer)

企業と消費者間の電子商取引。

CAD (Computer Aided Design)

コンピュータを用いた設計や設計システムのこと。建築、回路図、航空機、車など多種多様な分野で利用されている。平面図のみを扱うものを2次元CAD、立体図を扱うものを3次元CADと呼ぶ。最近ではコンピュータグラフィックの機能と組み合わせて完成図のシミュレーションやプレゼンテーションにも利用されている。

EC (Electronic Commerce)

電子商取引。個人や企業が行う商取引を電子化(デジタル化)し、コンピュータとネットワークを使って取引できるようにするしくみ。

EDI (Electronic Data Interchange)

EDIは電子データ交換の略であり、コンピュータネットワークを介して、各企業で請求書の発行など、これまで伝票や書類でやりとりしていた業務をオンラインで行うことであ

る。

LAN (Local Area Network)

企業内ネットワークなど比較的限られたエリア内のコンピュータ・ネットワーク。LANの中にWebサーバーを立ち上げ、Webコンテンツを社内で共有するイントラネットが注目されている。

POS (Point Of Sale)

商品に付けられたバーコードや磁気記録などにより、それが売買された時点（キャッシュレジスタに記録された時点）で商品コードなどのデータをコンピュータに通知し、商品の販売数や売筋商品をリアルタイムに集計、分析可能にする販売方式。

SFA (Sales Force Automation)

営業支援システム。営業活動をITによって支援しようとする考え方、あるいはその考え方に基づいて提供される製品やシステムを指すこともある。

システムによって実際に提供される機能や実現方法はさまざまであるが、一般的なイメージではデータベースを核にインターネット接続やモバイルサポートを組み合わせる業務アプリケーションという形になる。